

中筋川ダムが中筋川の水位を下げました

～令和元年7月梅雨前線における中筋川ダムの防災操作～

- 梅雨前線により、中筋川ダム上流域では、7月18日12時から22時までの累計雨量で158mm、時間最大雨量で74mm(18日11-12時)の降雨となりました。
- この豪雨により、中筋川は下流の磯ノ川地点で、氾濫注意水位(5.50m)を超える出水となりました。
- 中筋川ダムでは、ダムへの最大流入量(毎秒約147m³)の約89%をダムで貯留、ダム流下量を毎秒約16m³に低減し、磯ノ川地点の水位を約89cm低下させました。また、横瀬川ダムが完成していた場合は、さらに約36cmの水位低減効果が期待できたと推測されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

令和元年7月23日
国土交通省 四国地方整備局
中筋川総合開発工事事務所

問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所
電話(0880)66-0142

◎管理課長 宮崎 泰典 内線(6121)
管理課専門職 高橋 直人 内線(6120)

◎主な問い合わせ先

